

平成28年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の各事業の評価票 [前回から評価が下がったものを抜粋]

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の具体的取組内容	平成28年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	事業の評価				課題	施策利用者の具体的な声等	H28年度当初予算 (単位:千円)	H28年度決算見込額 (単位:千円)	担当課
						目標設定根拠	段階評価(ABCD)	取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合の段階評価の説明等記入 ②施策の利用者に対して、どのような成果があったかを把握している範囲で記入	取組の成果					
(1) 中小企業の自らの成長を目指す取組の円滑化(条例第8条第2項)														
ア 将来において成長発展が期待される分野における参入および事業活動の促進														
8-2-ア	10	健康創生産業育成事業 <重点②>	健康創生産業の創出・振興を図るため、国の総合特区制度を活かし、医療・健康機器の開発や健康支援サービスの提供への取組を支援する。	○医療現場のニーズや大学・企業の技術シーズの探索・コーディネート、展示会等への出展によるニーズ・シーズマッチング、および研究開発テーマの調査検討・提案支援等 ○“治療・介護から予防への転換”に寄与する新たな健康支援サービス創出にかかるニーズシーズ収集・マッチング、事業モデル検討会等	・医療・健康・福祉分野における競争的研究開発資金への応募件数 1件 ・新たな健康支援サービスの創出件数 1件	④組織目標	B	A	○(公財)滋賀県産業支援プラザのコーディネータを中心に、医療者や製造販売業者のニーズや大学や県内企業の技術シーズを収集した。これらの結果、意欲的な企業による医療・健康機器開発プロジェクトを構築し、競争的研究開発資金へ応募した(1件)。また、県内企業の取組を大規模な展示会へ出展・PRし、県外企業とのマッチングを行った。 ○サービスの検討・検証と事業モデル構築を行い、新たな健康サービスの創出を行った(1件)。	医療現場のニーズとものづくり企業とのマッチング、プロジェクト構築を引き続き実施するとともに、研究開発・事業化に向けての支援策の強化を図る必要がある。	<展示会出展企業の声> ○大規模な展示会に出展することができ、新たな商談に繋がった。	19,377	18,386	モノづくり振興課
ウ 海外における円滑な事業の展開の促進														
8-2-ウ	15	海外環境見本市共同出展事業	海外で開催される環境関連見本市に県内企業の参加を得て「びわ湖環境ビジネスメッセ」のコーナーを共同出展する。	○「びわ湖環境ビジネスメッセ」コーナーに県内企業と共同出展する経費に関し補助	・企業出展者数 10者 ・一般商談件数 100件	①基本構想	C	B	○企業出展者数 5者 一般商談件数 65件 ○県内中小企業にとっては個別出展よりも効率的な出展が可能となるが、それでも海外展示会へ出展しようとする企業はある程度限られるものと思われる。 海外展示会に出展に意欲のある企業は過去4年間の事業に一度は参加したとも考えられ、平成28年度の参加企業数は目標に達しない結果になった。 ○個別出展が難しい企業も共同出展事業により、海外展示会への出展が可能となった。共同で出展することにより、個別に出展する場合よりもプレゼンスを高めることができた。また、びわ湖環境ビジネスメッセを海外でPRすることができた。	事業廃止後も、びわ湖環境ビジネスメッセの海外PRを継続する必要がある。	実際に参加した企業からは一定の評価を得ている。 ・前回よりもブランドが浸透した。 ・有望なコンタクトを多く獲得できた。	4,850	3,022	モノづくり振興課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の具体的取組内容	平成28年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	事業の評価					H28年度 当初予算 (単位:千円)	H28年度 決算見込額 (単位:千円)	担当課	
						目標設定 根拠	段階評価 (ABCD)	昨年度 (H27)の段 階評価	取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合 の段階評価の説明等を記入 ②施策の利用者に対して、どのような成果が あったかを把握している範囲で記入	課題				施策利用者の具 体的な声等
(2) 中小企業の経営基盤の強化(条例第8条第3項)														
ア 中小企業の事業活動を担う人材の確保および育成														
8-3-ア	29	若年者総合 就業支援事 業	若年求職者に対する就職相談、情報提供等の各種就職支援を行うヤングジョブセンター滋賀を運営する。	○ヤングジョブセンター滋賀の運営 ・相談員3名を配置 ・キャリアコンサルタント(1名)によるじっくり相談 ・就職面接会(3回)・相談会(1回)の開催 ・就職関連情報の提供 ○滋賀県二ト問題連絡会議の開催 ○「仕事応援ブック」の印刷・配布 ○インターネットによる企業情報等の提供(WORKしが)	総利用者: 20,000人 登録者: 2,100人 就職者: 1,220人	⑤その他	B	A	○他事業との連携により当事業におけるサービスの提供機会の増加を図ったものの、雇用情勢の改善等をうけて、わずかに目標を下回った。 総利用者:18,818人 登録者:2,083人 ○就職者数は1,253人で、目標を達成。	大学等に対し一層の広報を行い、利用促進を図る必要がある。	雰囲気もよく、すぐ利用しやすかったとの声をいただいた。	19,206	17,100	労働雇用 政策課
イ 中小企業者が供給する物品、役務等に対する需要の増進														
8-3-イ	71	新商品等バイオニア認定商品 トライアル購 入事業	中小企業による新商品等開発への取組を支援するため、滋賀県新商品等バイオニア認定制度で認定した新商品等を県がトライアル購入する。	○県による認定商品等のトライアル購入の実施	認定商品のトライアル購入:2商品	⑤その他	D	A	○認定商品のトライアル購入:0商品 ○庁内で希望調査を行い、認定商品のトライアル購入に向けた調整を進めていたものの、施設上の制約等により当該認定商品の設置が不可能になってしまったことから、実際の購入にまでは至らなかったもの。	・新たな認定商品の募集および認定 ・実際にトライアル購入希望が見込める商品の認定	H25年度からトライアル購入を実施しており、庁内へ調達希望にかかる照会を行っているが、反応が殆ど無いというのが現状である。	1,000	0	中小企業 支援課
8-3-イ	73	「琵琶湖八珍」ブランド化 事業	安土城考古博物館企画展により発表された「琵琶湖八珍」を滋賀の観光資源として価値を構築するため、飲食店・旅館・土産物店など事業者による活用促進と、観光客や消費者への利用訴求を展開する。	○事業者への活用促進として、「琵琶湖八珍」にちなむ新商品開発、事業者のマイスターとしての登録、統一感を持たせたPR資材の配布等により、湖産魚介類活用の契機を創出 ○消費者への利用訴求として、ポータルサイト・SNSを活用して参画事業者と消費者の双方向参加型の情報運用や、「おいしがうれしが」など既存システムとの連携により、湖産魚介類の持つ潜在的価値の掘り起こしを実施	登録店舗数50件	④組織目標	C	A	○H28年度末における新規登録店舗数が実質としては20件であったが、事業者に向けたマニュアル作成・配布やマイスター登録店舗を紹介するサイト内容のリニューアル・充実を図ったことにより、マイスター登録に関心を示した事業者から登録希望の問合せが寄せられ検討されているところ。 ○琵琶湖八珍ブランドの消費者へのPRを行うことにより、湖魚のイメージおよび認知度の向上が図れた。	琵琶湖八珍のイメージ定着を図るため、登録店舗数の拡大と消費者へのPRを継続して展開する必要がある。	催事の開催など消費者へのPR展開が望まれている。	3,966	3,943	水産課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の具体的取組内容	平成28年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	事業の評価					H28年度 当初予算 (単位:千円)	H28年度 決算見込額 (単位:千円)	担当課	
						目標設定 根拠	段階評価 (ABCD)	昨年度 (H27)の段 階評価	取組の成果 ①数値目標の達成状況、定性目標の場合 の段階評価の説明等を記入 ②施策の利用者に対して、どのような成果が あったかを把握している範囲で記入	課題				施策利用者の具 体的な声等
(3) 産業分野の特性に応じた中小企業の事業活動の活発化(条例第8条第4項)														
ア ものづくり産業を担う中小企業の事業機会の増大														
8-4-ア	76	ちいさなものづくり企業等成長促進事業 <重点①>	ものづくりに携わる中小企業・小規模事業者が必要とする情報収集や、受発注体制についての取組、自社分析について支援を実施することで、企業の自立的・持続的な成長を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ○自社分析の支援 ○受注体制の強化支援 ○販路開拓、調達情報収集支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業情報シート(県版知的資産経営報告書)の作成支援 10件 ・発注元への受注側企業紹介数 30件 ・商談会への受注側参加企業数延べ 100社 	①基本構想	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○企業情報シートの作成 10件 ○受注側企業紹介数 29件 ○商談会への参加企業数 146件 	企業情報シートに協力的な企業がへっている。メリットを明確にする。	今後のきっかけができた。多くの情報を得ることができた。	8,800	8,539	ものづくり振興課
8-4-ア	84	地場産業新戦略支援事業 <重点①>	地場産業の活性化を図るため、地場産業における創意工夫、ブランド構築に向けた取組に対し支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○滋賀県中小企業団体中央会が行う地場産業団体に対するブランド構築や新事業創出のための啓発活動や指導事業への助成 ○地場産業の地域特性を生かしたブランド力向上の取組等、創意工夫や意欲ある組合への助成 	<ul style="list-style-type: none"> 当事業を活用し、商品開発や販路開拓など産地振興に向け取組を行った組合数 10組合 	①基本構想	C	A	<ul style="list-style-type: none"> ○当該事業を活用し、産地振興に向け取組を行った組合数6組合/10組合(60%) ○今年度から、地場産業の支援を拡充したことにより(滋賀の地域産業振興総合支援事業)、当該事業を活用した組合数は減となったが、二つの事業により総合的に地場産業の支援を行うことができた。 ○滋賀県中小企業団体中央会が行う地場産業総合展、ブラッシュアップ勉強会、啓発活動への助成を行い、出展者の売上げ、引き合いの獲得に貢献した。また、各組合が行うイベント開催等の支援を行った。 	すぐに効果のでもでなく、粘り強く継続しておこななければならない。	イベントを開催することで、多くの引き合いを得た。地場産品について効果的にPRできた。	9,091	9,082	ものづくり振興課
イ 小売商業およびサービス業の振興を通じた中小企業の事業機会の増大														
8-4-イ	88	にぎわいのまちづくり総合支援事業	商店街等が行う、地域の特性を活かした商店街の魅力向上や地域のふれあい創出、空き店舗対策などの取組により、地域社会が抱える課題の解決や商店街等のにぎわいを創出しようとする事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街等に対する補助 ・にぎわい創出推進事業 ・商店街基盤施設等整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体が参画する商店街のにぎわい創出への取組件数 14件 	⑤その他	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体の参画による取組件数:13件 ○NPOや大学が実施主体の「連携・協働促進事業」だけでなく、商店街振興組合や商工会・商工会議所等の実施による「一般事業」においても、多様な主体の参画を得ることができた。 ○空き店舗を活用したチャレンジショップの運営や、イベントの実施等により、商店街の活性化や商店街への満足感の向上が図られた。 	より効果的な支援を行うために、市町の取組と相乗効果の得られる事業を積極的に補助していく必要がある。	商店街と店舗の魅力を知ってもらうことができた。地域の様々な団体との交流が深まったなどの声があった。	20,047	8,995	中小企業支援課

施策分類	事業番号	事業名	事業概要	平成28年度の具体的取組内容	平成28年度の事業の目標 (数値目標または定性目標)	事業の評価						H28年度 当初予算 (単位:千円)	H28年度 決算見込額 (単位:千円)	担当課	
						目標設定 根拠	段階評価 (ABCD)	昨年度 (H27)の段 階評価	取組の成果		課題				施策利用者の具 体的な声等
									①数値目標の達成状況、定性目標の場合 の段階評価の説明等を記入	②施策の利用者に対して、どのような成果が あったかを把握している範囲で記入					
8-4-イ	91	魅力あるお店 創出支援事業 <重点②>	商店街における魅力あるリーディング 店舗の創出につなげるため、開業希 望者を発掘・育成する創業支援セ ミナー、受講者を具体的な開業に 導くフォローアップ、モデルとなる店舗 への支援により、開業者の発掘・育 成、独り立ちまでを一貫して支援す る。	○創業支援セミナー 商店街等での創業を目指す 方を対象としたセミナーの開催 (全8回程度) ○修了者のフォローアップ事業 開業の実現性を高めるため、 セミナー受講修了者同士が相 互に情報交換等をできる場や 相談できる機会の提供	セミナー受講者・ 修了者への支援 件数 20件	④組織目標	B	A	○セミナー受講者・修了者への支援件数 15 件 ○創業を考えている方々が、自分自身の店 舗に対するコンセプトを練り上げる場となり、実 際の創業への一助となった。(開業者は1名)	創業支援セミナー の受講者数が想 定より少なかったこ ともあって、支援件 数は伸び悩んだ。	「実際に開業したい と思っており、そのた めに役に立つセミナー だと感じるので、参加 している」という声が あった。	2,000	1,550	中小企業 支援課	
ウ 観光客の来訪および滞在の促進による中小企業の事業機会の増大															
8-4-ウ	94	ピワイチ観光 推進事業	「ピワイチ」に代表されるサイクルツー リズムを中心に、滋賀を巡る旅づくり を推進し、自転車による観光を安 心して楽しめる環境を整備すると ともに、魅力ある観光資源を活か して、県内各地への周遊を促す取組 を展開する。	○サイクルサポート体制整備促 進 ○多彩な観光素材の創出 ○個人・着地型の観光プログラ ム造成促進 ○ピワイチサイクルを中心とした 多彩な魅力の情報発信	・サイクルサポート ステーション整備 個所数 100件 ・観光素材開発 件数 15件	①基本構想	B	A	○サイクルサポートステーション数132件(達成 率132%)、観光素材開発件数 - ○「ピワイチ」については、H28からサイクルツー リズムを中心に取り組みを特化して展開すること となり、サイクルサポートステーション整備をはじ め、自転車による周遊促進に向けた基盤整 備をすすめた。引き続き、自転車を中心に琵琶 湖一周する「ピワイチ」にむけた環境整備や 魅力発信に努めることとしたい。	様々な主体が連 携した取り組みの 推進が必要	・地元の方はもちろ ん、県外の方にもピ ワイチを通じて滋賀 県に関心を持ってほ しい。 ・県、行政や観光施 設、飲食店、自転 車店などが連携でき る場があると良いと 思う。	24,146	23,373	観光交流 局	
8-4-ウ	97	首都圏観光 情報発信事 業	首都圏において、大河ドラマの放映 や、本県の文化財に関する展覧会 の機会を活かして、観光PRや情報 発信を積極的に展開することで、観 光地「滋賀」の認知度向上を図ると ともに、宿泊を伴う観光誘客を促進 する。	○東京都内博物館での企画 展に合わせた滋賀の魅力発信 ○忍者を活用した国内外から の観光誘客 ○バイヤーを意識した物産展 示会への出展 ○滋賀の物産を紹介するリーフ レット等の作成 ○旅行会社、マスコミ等に対す る観光情報発信	センター来場者 数 94,000人	①基本構想	C	A	○センター来場者数 67,274人 ○ゆめぶらざ滋賀(滋賀県東京観光物産情 報センター)の運営だけでなく、都内の各種イ ベントに出展し、観光物産PRに取り組むこと により、本県の魅力発信に資することができ た。	認知度向上、さま ざまな機会を活用 して一層誘客を促 進する必要がある。 各種イベントへの出 展に積極的に取り組 み、イベントのお客 様から本県の積極 的な情報発信への評 価の声をいただいた。	11,311	11,211	観光交流 局		